

精進碗 利休形、香臺の内いづれも黒し。

吸物碗之分

喰初碗 松竹鶴龜の繪は利休形、夕顔は原叟好。

〔茶式湖月抄三篇下〕精進碗形寸法

食碗 下同 圖略 總高二寸六分半、さし渡四寸八分半、トモ深壹寸六分、かう臺高内五分、外六分、同廣三

寸四分、厚一分二厘、

同蓋 總高壹寸五分七厘、さし渡四寸三分、かう臺高内二分、外三分、さし渡二寸一分半、厚八厘、

汁碗 但シ汁わん也、食わんとは形かはるなり、

總高二寸四分半、さし渡四寸四分、トモ深壹寸五分半、かう臺高内四分、外四分、廣二寸二分半、

厚壹分、

同蓋 總高壹寸三分半、さし渡四寸分半、かう臺高内壹分、外貳分、七厘、廣寸法缺、厚七厘、

右ふた二ツとも汁碗と同形なり、尤口にひもなし、食碗ばかりひもあり、ぬり内外朱、かうだいの

内いづれも黒塗也、地すりは朱の方也、何れも碗の深さなり、かつこう汁わんと同事也、食わんは

壹ツはなれたる形ち恰好なり、是を皆朱の精進わんとて利休ごのみなり、

精進碗ニ付坪皿之寸法

平皿 總高一寸八分、さし渡四寸三分半、かう臺高三分二厘、廣二寸一分半、厚一分二厘、

恰好常にある平皿同事也、外のひも上より四分半の所にあり、下のメン上より壹寸分半の所に

あり、メン廣五分、

同蓋 總高九分半、さし渡四寸七分、かう臺高二分七厘、廣一寸二分、厚一分貳厘、

坪皿 總高二寸五分、さし渡三寸八分半、かう臺高三分七厘、廣一寸九分、厚壹分、